



Newsletter

No. 66

2016年2月5日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

2016年もがんばる

時代の危機に立ち向かおう！

2016年が始まった。昨年の「戦争法強行採決」から暴走をつづける安倍政権。世界をみれば、フランスのテロ事件、シリア空爆、大量の難民、北朝鮮の核実験、株の大暴落と大変な時代に突入していることは間違いない。7月には参院選（あるいはダブル選）で改憲も現実の問題として迫っている。このまま行くところまで行ってしまおうのか、ストップをかけ政治・社会の流れを変えることができるのか。さあどうしたらいいのか。私たち一人ひとりに問われている。

レイバーネットの最初のスタートは1月13日の拡大事務局会議だった。この日は、全体で14人が集まりしかも3人の人が初参加だった。平均年齢、ジェンダーバランスも改善され、議論ふっとうで盛り上がった。レイバーネットTVの企画も時代の危機感を反映して、次から次にだされた。この日の会議は、新年の幸先のいいスタートになった。最近入会者も増えていて、レイバーネットのネットワークは広がっている。

この会議でことし前半のスケジュールなどを決めた。報道部も数年ぶりに2月11日に「作戦会議」をすることになった。もうあとがない2016年。やれることを精一杯取り組みたいものだ。

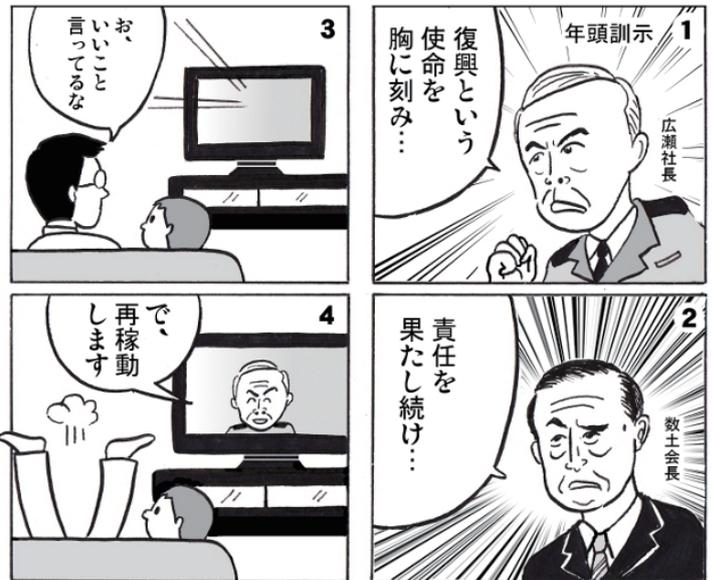
●拡大事務局会議日程

2月3日（水）、3月2日（水）、4月6日（水）、5月6日（金）、6月1日（水）、7月6日（水）
時間は19時～21時半（ニュース発送日は18時）。
場所はすべて「神楽坂スカットセミナールーム」

●重要イベント

- ・2016 総会 3月12日（土）スペースたんぼぽ
- ・レイバー映画祭 7月23日（土）田町交通ビル
- ・レイバーフェスタ 12月17日（土）田町交通ビル

<年頭訓示 作・壺花花>



●レイバーネット TV 放送予定

- 第97号 2月10日（水）武器輸出問題
 - 第98号 2月24日（水）オープンチャンネル「あれから五年～フクシマからの避難者は今」
 - 第99号 3月9日（水）
 - 第100号 3月23日（水）
 - 第101号 4月13日（水）
 - 第102号 4月27日（水）
 - 第103号 5月11日（水）
 - 第104号 5月25日（水）
 - 第105号 6月8日（水）
 - 第106号 6月22日（水）
- 場所＝バンブースタジオ（竹林閣）
午後8時～9時30分

ご案内 レイバーネット日本総会 2016

年に一回の総会です。会員交流も場でもあります。ぜひお気軽にご参加ください。企画もちより歓迎です。

- ・とき 3月12日（土）午後1時開場
- ・ところ スペースたんぼぽ（東京・水道橋7分）
TEL03-3238-9035

第一部 13.30～15.00 総会

活動報告・会計報告とディスカッション
新役員選出など

第二部 15.10～17.00 特別イベント

「戦争法をつぶすために」ゲスト＝中野晃一
・参加費 会員無料（一般500円）
・問合せ レイバーネット事務局 TEL03-3530-8588



2月24日 オープンチャンネル企画 「あれから五年～フクシマからの避難者は今」

2011年3月11日。東京電力福島第一原発事故は、日本社会を震撼させました。数万人に及ぶ福島の人たちが避難を余儀なくされ、数日後には東京にもおびただしい放射能が降りそそぎました。「レベル7」の事故だったこと、原子炉はメルトダウンしていたこと、放射能が流れた方向を示すスピーディーの存在が隠されていたこと。命を守るための情報が公表されたのはずっと後のことで、それを知った多くの人たちが「脱原発」を叫ぶようになりました。日本は変わらなければならないと思う人が増えたのです。

あれから五年。2020年東京でのオリンピックが決まり、三つの原発が再稼働を始めました。事故の収束の目処もつかない中で、進んでいる

のは除染作業と避難解除。「復興」のかけ声の大きさに、怒りや健康への不安は押しつぶされ、まるで3・11なんて無かったかのようです。負の歴史はまたもや、隠ぺいされてしまうのでしょうか。故郷を奪われ、「どっちを向いたらいいのかわからない」と言っていた人たちが、五年の歳月の中で歩き始めています。フクシマを風化させようとする、この国とはいったい何なのか。原発避難者たちが語ります。

(堀切さとみ・番組企画者)

★第98号放送 2月24日(水)午後8時～新宿パンブースタジオ 木田節子さんら原発避難者が出演します。 観覧歓迎。

マスコミより力になった「レイバーネットTV」

松原 明

レイバーネットはほんとうに小さいメディアだが、昨年うれしい話があった。2013年4月25日の番組「追い出し部屋からの告発」に出演した小川秀朗さん(東京統一管理職ユニオン)が、2015年11月11日の放送スタジオにやってきた。文芸社との争議が解決したので一言お礼をいいたいという。そしてかれは番組の最後に数分登場してこう語った(写真)。

「レイバーネットTVに出てからマスコミや新聞の取材申込みが相次いだ。そしてテレビのゴールデンタイムや新聞一面に報道もされた。しかし、争議の解決に一番強烈に力を発揮したのがレイバーネットTVだった。本当にありがとう。詳しいことは二次会で話します」と番組内ではここまで。そして二次会でこう続けた。「なぜマスコミ報道が力にならないかという、会社の名前を伏せてしまうから。それから一時的には大きく流れるがあとが続かない。だから忘れられていく。しかしレイバーネットTVの場合は、会社名は実名で思い切り実態を話すことができた。またネットにずっと残っているので検索にひっかかってくる。会社側はこれを一番いやがっていた。団交のたびに映像を消せないか、何とかならないかと言ってきた。私にはそれはできません。レイバーネットTVさんに言ったらどうで

すか、と返答したが、会社はレイバーネットを怖がって電話することもできなかった。とにかくレイバーネットTVが争議解決の大きな力になった」。

それを聞いて私は本当にうれしかった。レイバーネットTVは、こんなところで役に立っていたのだ。ネットメディアは、会社とのたたかいはきわめて有効なツールであることを再認識した。最近でも、「アリさんマークの引越社」の動画が200万アクセスをこえて会社にプレッシャーをかけ続けている。2010年に開局して、試行錯誤で続けてきたレイバーネットTVはことしで6年目に入る。小川秀朗さんのうれしい話をバネに、小さいがピリリと光るメディアとしてみんなで育てていきたい。

(レイバーネット共同代表)



● DVD『民主主義ってこれだ！～2015年夏・戦争法案ドキュメント』の活用を！

2015年は安倍政権の「戦争法案」反対運動の年になった。8月30日には、怒りの市民12万人が国会正門前を埋め尽くして声を上げた。あらゆる層が立ち上がったこのたたかい。膨大な記録からビデオプレスが33分のドキュメントにまとめた。この作品はレイバーフェスタ2015で『鉄柵をこえて』のタイトルで上映したもの。今回DVD化にあたって改題しました。3000円。

→ビデオプレス TEL03-3530-8588

<会費納入・カンパのお願い>

2015年の財政も無事乗りきることができました。しかし近年活動量が増えたことにより、支出も増え、厳しい財政状況に変わりありません。レイバーネットは会費とカンパで成り立っています。ぜひ、会費の前納やカンパにご協力いただければ幸いです。同封した郵便振替をご利用ください。(事務局)

レイバーフェスタに 210 人 「勇気と生きる希望もらった」



「またたく間に時間がすぎた」「元気になりました」「勇気と生きる希望をもらいました」。12月19日のレイバーフェスタのアンケートの声です。ことしはとくに映画・演劇・音楽・川柳・3分ビデオなどバラティに富み、それぞれ好評でした。参加者は、常連だけでなく初参加も多かったです。また若い世代の姿も目立ちました。

初公開の『アリ地獄天国』には「ヒドイ実態を茶目っ気とともに見せてくれた。いろんなところで上映してほしい」と絶賛の声が圧倒的でした。『鉄柵をこえて』では、「安保法強行採決に反対する気持ちを持ち続けて輪を広げたいですね」の感想も。二次会には45人が集まり大交流会になりました。それぞれの自己紹介・アピール・感想が面白い。さまざまな分野の老若男女がフェスタの出会いから、新たなつながりを深めました。フェスタ全体の参加者は210人でした。

会計報告は右記の通りです。賛同団体個人が102件となり、財政を支えてくれました。おかげで若干の黒字で終了することができました。本当にありがとうございました。

レイバーフェスタ 2015 会計 中間報告

●収入

賛同金（振替）	97,000 円
（現金）	44,000 円
（当日）	30,000 円
賛同金小計	171,000 円
当日券	134,500 円
前売券	50,900 円
当日カンパ	4,000 円
パンフ売上げ	4,800 円
小計	365,200 円

●支出

チラシ版下・印刷	61,820 円
会場費	90,540 円
ギャラ（出演者謝礼、映画代）	90,000 円
音響	50,000 円
二次会ホテン	22,000 円
運搬タクシー	15,000 円
材料費	9,000 円
宅配（チラシ送付など）	9,090 円
雑費（コピー）	1,220 円
小計	348,670 円

●差引

16,530 円

全世界から 2 千人！ 4 月のレイバー・ノーツ大会に参加します

山崎精一（レイバーネット国際部）

松元ちえさんと私など19人の呼びかけで、今年4月米国シカゴで開催されるレイバー・ノーツ大会に日本から参加団を送ります。時給15ドルの最賃を目指す運動などアメリカ労働運動の息吹が感じられる訪問と交流が期待できます。以下は呼びかけ文。すでに1/31に参加申込みは締め切りになりますが、報告をご期待ください。

2016 レイバー・ノーツ大会参加のお誘い

アメリカの労働運動の再生と活性化を支えている運動団体の一つにレイバー・ノーツがあります。1979年に創設され、月刊雑誌『レイバー・ノーツ』を発行する労働者教育団体であり、各産別労組、ローカル労組を下から変革していく全国の活動家の結集体でもあります。2年に一回のレイバー・ノーツ大会が来年4月1日から3日にかけてシカゴで開催され、2000人を超える活動家が全米から全世界から結集します。

最低賃金の引き上げ、移民労働者の権利向上、ストライキを含むファーストフード・キャンペーン、労働者協同組合の立ち上げなど、アメリカ労働運動の発展を担っている全国の労働運動活動家の問題意識に触れるまたとない機会です。アメリカ労働運動に関心を寄せる皆さんを募って日本からの訪問団を作って参加したいと思います。

大会の前にシカゴの労働運動の歴史と現状に触れるエクスポージャーを2日間行いたいと思います。教員労組、清掃労働者などとの交流、リパブリック・ウィンドーズなどの労働者協同組合訪問、労働運動歴史ツアーなどを企画します。

また、沖縄辺野古基地建設や戦争法案の取り組みなど日本の労働運動の課題を大会で報告することも追求します。

○名称 レイバー・ノーツ大会参加団

○日程 3月29日出発 4月1日～3日 レイバー・ノーツ大会参加 4月5日成田着

ドイツ人「独狼」さんからの手紙 世界にひろがる「レイバーネット川柳」

昨年のレイバーフェスタ 2015 の川柳募集に、ドイツから「独狼」(マーティン・トーマス)さんが投句してくれました。「黙れ! 征け! 撃て! 死ぬ! 腐れ! 安保法」の句が佳作に、「戦争が議会の奥に立つてみた」が入選しました。そのマーティンさんの手紙(11月20日付)が、鶴彬のふるさと・石川県かほく市の「鶴彬を顕彰する会」の鶴彬通信「はばたき」(1月15日号)に掲載されていたので、少しご紹介します。

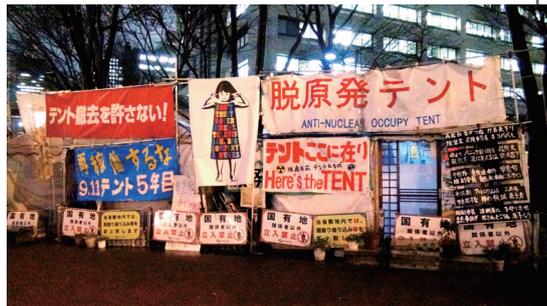
マーティンさんは、ライプチヒ大学の日本語科の学生で、鶴彬の翻訳・研究をしています。はじめは、戦前の反戦俳句に興味をもっていました。鶴彬に出会い、その「抵抗のレベル」に驚き、研究にとりくむようになったそうです。「顕彰する会」とのつながりは、鶴彬の映画と演劇のDVDを彼が注文したことからはじまりましたが、レイバーネット川柳班についても手紙に書いてありました。

「デジタル時代のおかげで、ドイツにいるにもかかわらず、レイバーネット川柳班の活躍もインターネットを通じて見守ることができます。テント広場がもうすぐなくなるのはとても残念ですが、12月にはまた大きなレイバーフェスタが行われるよう

で、テント撤去が同時に文化人の活躍の終わりではないと安心します。逆に、乱鬼龍のような熱心に自由のために戦う人がずっと頑張ると存じます。フェスタでは鶴彬に関するドキュメンタリーも上映され、川柳コンクールもあるようです。私も鶴彬を偲ぶという意味で投句しようと考えています。句作には上手というわけではないが、私も文学上で『戦争が嫌だ』というメッセージを伝えたいです。」

彼はいま、「原発川柳句集」とレイバーネット川柳班についてドイツ語で論文を書いているそうです。インターネットでつながったマーティンさんと今後もぜひ交流を続けたいと思います。

(佐々木有美・レイバーネット川柳班)



新会員紹介

●サイト見て「凄い」と思った 大家智子

レイバーネットのウェブサイト初めて拝見した時、労働問題をはじめとした社会問題について、中身の濃い情報が多数掲載されていて、「本当に凄い!!」と思わずにいられませんでした。気味の悪い排外主義的な情報—私の中の直感が、そこから速やかに離れるべきだと、激しく警報を鳴らしていました—。皮相で志の低い情報の氾濫にうんざりしていたところで、レイバーネットのサイトの内容が、本当に真っ当に感じられ、有難かったです。社会運動に参加するには、人間性、信用され信頼されること、仁義、社会性が不可欠だと、ここ数年で重く痛感しています。労働問題の他にも、女性と社会のかかわり、人権やジェンダーの問題、教育、福祉等に関心を持っています。好きな本は、永井路子、山田詠美、田辺聖子、水谷修他。好きなアニメ・漫画は『ヤダモン』『ドラえもん』『暗殺教室』『家裁の人』等です。アンテナを磨いて、自分の中の大事な部分が腐らないようにしたいと思っています。

●やりたいことに会いたい 前川 心

35歳までに早期退職して世界旅行しながら暮らすんだあ、そう言っていたのは、20歳の頃。留学から始まった旅行まじりの海外暮らしが長引き、働いたり、学校に通ったりもしたけど、どこの国の

どの社会にも全力では関わらないまま、時間だけが過ぎていった。資本、紙幣、所有などの概念自体が存在しない世界に生きたいけど、どこから手をつけていいかわからない。早期退職は無理でも、フルタイムで働くのやめてみようかな。でも自由自在に時間を使える日々が数ヵ月続く度に、朝目覚める理由を見失った。だから、自由も怖いんだけど、今の資本主義を支える使い捨てる労働力として生きたくない。やりたい事がわからないまま、死ぬのかなあ。いつかやりたい事に出会うのかなあ。それとも、突然、時代に全力で生きろって言われるのかなあ。

●「レイバーネットTV」から学ぶ みゆき

初めまして、新入生のみゆきです。レイバーネットには、川柳会のヒーロー乱鬼龍先生が「レイバーネットTVを観に来ないか」とお誘い下さいましたのが、きっかけです。その時の放送が「ヨーロッパの車窓から」で、ギリシャからバルセロナまで1時間でワープし、Skypeで現地と繋ぐ中継も見所でした。12月放送の「福島歩兵65連隊と南京大虐殺」の回では、ぐっと胸を押され、加害兵士・木村守江にも、その後も反省なく自己満足に人生を終える方々がいらっしやると痛感しました。また川柳句会やレイバーフェスタなどに参加し、レイバーネットの皆様には様々な事を教わり、励まされました。

先日の会議でレイバーネットTVに自分の企画を出しましたが、通ったら嬉しいなあ!と思っています。

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000円
(B会員 = 5,000円 通常 + TVサポート)

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所
普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578

現会員数 570名
ウェブアクセス 1日 5,500